

PHILIPS



第57回フィリップス超音波診断装置Webセミナー AI技術を活用した心機能評価最前線

演者

三井記念病院
循環器内科／臨床検査部

田中 旬 先生



ご講演内容

心機能評価ではEFやGLS、wall motion scoreなど多くの指標が用いられますが、近年、これらの計測を自動で行うAI技術を活用したツールが数多く登場しています。本セミナーでは、新しくリリースされた、wall motion scoreをサポートするAuto SWM(Auto Segmental Wall Motion)を中心に、実臨床の現場でどこまで活用可能なのかを症例を交えてご紹介いただきます。

配信期間

2025年12月1日（月）～2026年1月31日（土）

お申し込み方法

こちらの[リンク](https://v2.nex-pro.com/campaign/86604/apply)か、または右のQRコードよりお申込みください。

<https://v2.nex-pro.com/campaign/86604/apply>



記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V.
またはその他の会社の商標または登録商標です。

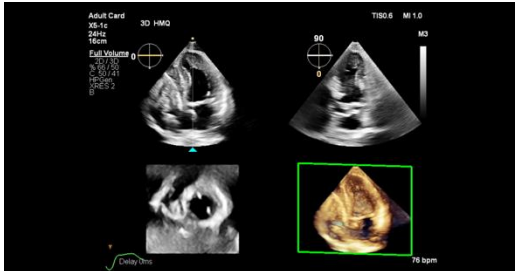
©2025 Koninklijke Philips N.V.

CVx Transcend Plus

The next dimension in echocardiography

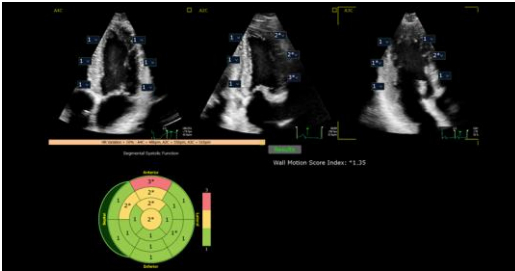
X5-1cxMatrix TTE

画像調整機能であるImage Boostの進化により、心内膜が明瞭に描出され、心筋の観察をしやすくなることを目指した画像調整がなされました。



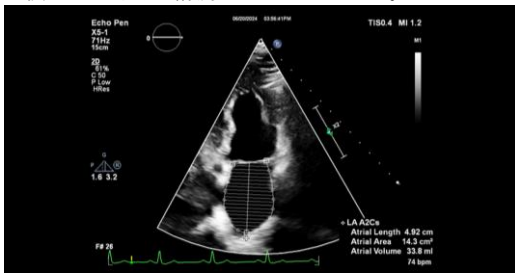
Auto SWM

機械学習のアルゴリズムを使用*し、各セグメントの壁運動スコアを算出します。効率的かつ客観的な左室壁運動評価に貢献します。



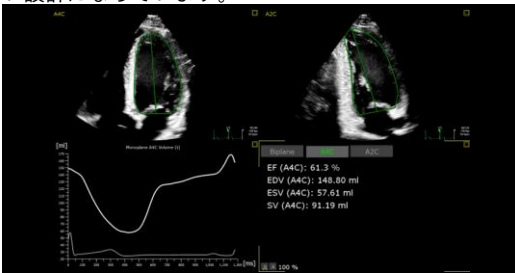
Auto Measure

AI技術*を使用した心機能計測の自動ツールが進化しました。Transcend Plusでは心電図がないデータでも使用できるよう設計されています。また、LAやRAのトレース、TAPSEなどの計測項目が追加され、ルーチン検査での迅速な計測をサポートします。



2D Auto EF

EF自動計測も心電図がないデータで解析ができるようになりました。従来はGLS解析の一部としてEFの自動計測が含まれていましたが、Transcend PlusはEF計測が独立し、よりルーチン検査で使いやすい設計になっています。



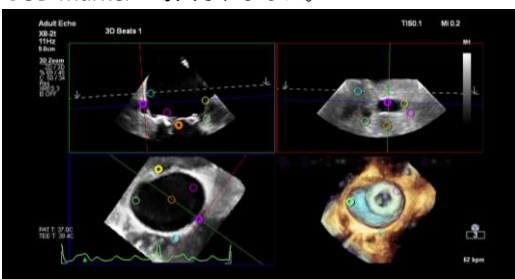
Smart View Select for Affiniti

AI技術の活用*により解析に必要な3断面が自動で選択される機能が、Affiniti CVx Transcend Plusでも使用可能になりました。迅速かつばらつきが少ないGLS解析に貢献します。



X11-4t画質の向上と3D Markers

nSIGHT Plusにより2Dと3DモードにImage Boostが適応されたX11-4tでは3D画質とVolume Rateの向上に貢献します。また、3Dでの解剖の把握を簡便にする3D Markerが導入されました。



*AI技術の設計にはDeep LearningまたはMachine Learningを使用しており、実装後に自動的に装置の性能・精度は変化することはありません

超音波画像診断装置 EPIQ/Affiniti	225ADBZX00148000	特定保守管理医療機器/管理医療機器
フィリップス 超音波診断用プローブ X5-1	223ACBZX00007000	特定保守管理医療機器/管理医療機器
フィリップス 食道向け超音波診断用プローブ X11-4t	306AFBZX00060000	特定保守管理医療機器/管理医療機器

株式会社フィリップス・ジャパン
〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1
麻布台ヒルズ森JPタワー15階
www.philips.co.jp/healthcare



記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。
© 2025 Koninklijke Philips N.V.